



70th Anniversary

# 清新

市川市立富貴島小学校  
学校だより No 8  
令和3年12月22日



学校ホームページ

## 特別の教科 道徳

学校教育のねらいの1つは、子供達の豊かな心を育てていくことです。思いやりの心を育てたり、社会的な規範意識を身に付けたりすることは、学校の教育活動全体をとおして行っていかなければなりません。

平成30年度から始まった「特別の教科 道徳」(道徳科)は、学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の中でも要(かなめ)として位置づけられており、授業の中では次のことを重視しています。

○子供たちが考える活動、話し合う活動。

○答えが1つでない事柄について、自分自身の問題としてとらえ、向き合うこと。

通知表の「特別の教科 道徳の記録」では、児童の道徳性について評価するのではなく、道徳科の授業の中で

○ある事柄について自分のこととしてとらえ、道徳的な価値を高めようとしていたか。

○1つの道徳的な価値について、様々な視点から考えようとしていたか。

などについて評価し、文書で記載します。(例文参照)

また、授業の中での評価なので、「生活・行動の様子」の評価とは異なることもあります。

### 例文

グループの話し合いでは、積極的に自分の考えを述べてます。道徳ノートには、授業を通して考えたことや自分の考えが変わったことについて理由を書いています。

### 例文

「命の大切さ」について考える授業では、友達の発表を聞き、命がなくなっていくことの重要性に気づくなど、授業をとおして自分の考えが広がりました。



2学期は新型コロナウイルス感染症が拡大している真っ只中でのスタートでしたが、本校では学級閉鎖に至るような状況にはならず、修学旅行、校外学習等、教育活動を無事に終えることができました。

これもひとえに、体調不良や発熱の症状があった場合にはお子様の登校を控える等、保護者の皆様のご協力と感染予防への意識の高さがあったからだと思っています。ありがとうございました。



市川市教育委員会の広報紙「教育いちかわ」最新号(11/30)が発行されました。市川市の教育に関する情報が掲載されていますので、ぜひ、ご覧ください。



最新号



バックナンバー